

第9回 善通寺市学校等再編整備討委員会 概要

1. 日 時 令和7年7月14日(月) 午後7時～午後8時05分
場 所 善通寺市役所4階 401～403会議室

2. 出席委員

片山 昭彦	委員	高畑 智	委員
畑田 裕康	委員	米村 徹	委員
大林 勇太	委員	西川 真有	委員
宮武 有奈	委員	徳山 恵	委員
田嶋 三枝	委員	町田 由紀	委員
山本 幾代	委員	井内 礼子	委員
大西 英和	委員	松村 早記	委員
草薙 めぐみ	委員	森 史郎	委員
高畑 光宏	委員		

3. 市側出席者

保健福祉部長 山西 留美 教育部長 尾松 幸夫
子ども課
課長 香川 勝応 課長補佐 高橋 友美 主事 宮地 雄貴
学校再編対策課
課長 山地 匠 課長補佐 内田 貴史 課長補佐 林 健一郎
教育総務課
課長 高畑 往立

4. 議 事

グループワーク 3園案と2園その他案について
全体会議

5. 概 要

〔事務局〕

本日は、昼間のお仕事等でお疲れのところ、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから、第9回の学校等再編整備検討委員会を開催します。片山会長様、進行の方をよろしくお願いいたします。

〔会長／議長〕

こんばんは、お忙しいところありがとうございます。議論もだいぶ白熱したものになってきましたが、みなさんの意見をしっかり受けとめながら進めていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは議事に入りたいと思います。

今回も、ご案内のとおり、まずはグループワークで議論をしていただきたいと思います。グループワークの時間は非公開としますので、ご意見をしっかりと出していただき、より議論を深めていただければと考えております。

まず、本日の進め方と、資料についての説明を事務局からお願いします。

〔事務局〕

本日の進め方を説明します。

今回のグループワークでは、「3園案」か「2園その他案」のどちらにするか、について議論をしてください。毎回同じメンバーだと意見が固定化してもいけないのでメンバーは前回までとは変えています。

議論で出た意見は、グループワーク後、全体会議の最初にメンバーのどなたかに発表していただきますので、よろしくお願いします。職員の皆さんは、意見の記録をお願いします。

その後、最終的に、この検討委員会として3園案にするのか、2園その他案にするのかを決定したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、グループワークの前に今回の資料について説明させていただきます。

まず、前回のグループワークで出た意見をまとめた資料 1-1～1-3 についてです。前回

のグループワークで出た意見を、案ごとに分けたものです。本日のグループワークの参考にしてください。

次に園児数予測の資料 2-1～2-2 についてです。前回、「公立こども園の適正な規模を考える上で、私立と協力していくなら、私立の適正規模を知らないといけませんよね。」というご意見をいただきましたので、学校再編対策課と子ども課で、5つの私立施設に聞き取りに行きました。聞き取りの中で、私立にご協力をいただく考えがあるということをお伝えしたところ、みなさん「協力しますよ。」とおっしゃってくださいました。また、各園の適正規模を聞かせていただき、その合計が455人ということで、それを反映したものが資料 2-1 と 2-2 です。

資料 2-1 の 3 園案ですが、私立の園児数予測のところが、2030 年から聞き取り結果の455人となっています。これまでは2025年の園児数に減少率をかけて推計していましたが、今回は実際に聞き取りして得た455人としています。

資料 2-2 の 2 園その他案は、455 人の上に、約 50 人の受け入れの協力をお願いするという案ですので、それでいくと 505 人となりますが、現状（2025 年）の予測値である485人を上限とすることで、結果的に私立の園児数は485人となっています。

最後に配置図の資料 3-1～3-3 については、今回の園児数を反映させたのと、将来的にどうなるかというのを分かりやすくするために、公立の幼稚園、保育所を表示しないように変更しています。

簡単ですが、資料の説明は以上です。

〔議長〕

資料について質問はありますか。

よろしいでしょうか。

今からグループワークを進めていただきたいのですが、私のほうから言うべきかどうか分かりませんが前提を言います。前回の 3 園案と 2 園案の議論の中では、時系列的に議

論がまとまりにくい状況だったと思います。つまり、今の現時点で検討するのか、あるいはこどもが減少していく将来をみながら検討するのかによって議論がずれてしまうというのが印象でした。実際のところ、こども園を新しく造るとなったときにタイムラグが生じます。4年後又は5年後に1園できるということです。ということは今から3～4年間は少なくとも現状の保育所・幼稚園の数であり、4～5年後に新しいこども園ができる可能性があって、それができたら次のこども園に移るわけで、長い場合であれば10年後に2園がそろふことになります。3園案の場合はさらに5年後になりますので2040年に3園そろふことになります。いっぺんにこども園を造っていくわけではありません。

なかなか、そのあたりのことが見据えにくいのですが、議論において考えていただきたいことは、現状としては何園必要なのか、それと何年後かには何園必要なのかです。つまり、こども園を造って、3園案ならそのまま3園案に、2園案ならそのまま2園案になるというわけではないということです。例えば、2園案なら10年後に2園そろふということですが、そのとき建物としてまだ使える園があれば、それを使いつつ3園で共存しながら、新たな3園目を造らなくてもこどもが減ってきたときに2園でいくということも可能ではないかということです。そのあたりのことを踏まえて議論をしていただきたいと思います。そうすれば、私立の聞き取りをしていただいた受入可能適正人数455人や485人が生きてくるのでご理解のほどよろしくお願いします。

〔事務局〕

それでは、グループワークを始めてください。全体会議の最初にグループワークで出た意見を発表していただきますので、よろしくお願いします。時間は7時30分までです。

～グループワーク1回目／非公開～

〔事務局〕

これでグループワークは終了です。席はそのまま、全体会議に移ります。

〔議長〕

これからは全体での議論をしていきます。まず、グループワークで出た意見を発表していただきます。

〔グループA〕

最初に言われたとおり建てるまでのタイムラグ、3園であれば15年程度を考慮しながら検討したところ、3園案は無理があるのではないかという結論になりました。もし、3園案で決定したとしても、年が経つにつれ3園案が立ち消えになって、2園でもいいのではないかということになると思います。このとき、3園で考えていたものを2園に切り替えるといういろいろな弊害がでる可能性があるのではないかとということで、2園にするのがいいのではないのでしょうか。

場所に関しては、今どうするかを考えるのは難しく、竜川は確定だとして、もう一つの園をどこにするのか考えるとき、こども園だけで考えるのではなく小中学校の再編と並行して考える必要があるのではないかと思います。なので、もう1園の場所は保留し、早期に小中学校の再編の結論を出す方向にいったほうがいいと思います。

〔グループB〕

現状は3園必要という意見もありますが、15年後をみたときに3園も必要ではないのではないかと思います。建てる順番が大事で、その次に場所だと思います。竜川には市有地があるので、まず竜川に建ててみてはどうかと思います。その後のことは、場所でいうと、東部地区で配送センターができる話があったような土地や、小中学校を再編し空いた土地という意見がありました。やはり、小中学校を再編し空いた土地に建てるほうが経費の削減にもなると思います。

〔グループC〕

2園その他案、3園案のそれぞれのメリットとデメリットがあるという話の中で、3園案にするとしても竜川に1園造って残りは小さい園にしたり、2園にするとすれば規模が大きくなるので職員の数も危惧されたのですが、1人の先生に対して何人の園児を

みることができるのかは決まっているので、その心配よりは管理をする方が大変になるのではとか、いろんな話をしました。

ただ、やはり2園なら10年後、3園なら15年後になるわけで、まず竜川から始めて、例えば5年後とかに委員会を設けて、本当に2園でいいのか、やっぱり3園必要なのかということをその都度検証するのがいいと思います。スタートする段階で何園必要かというのは決めておかなければならないという意見もあるでしょうが、このようになりました。なお、場所の話まではできていません。

〔グループD〕

結論から言いますと2園がいいと思います。

大きな理由としてはタイムラグであり、15年もかかるということです。今、数字がでているのは、3園をいっぺんに建てるときの数字であって、15年後に110人規模のものを造る必要はないと思います。なので、3園目を小さくするよりは2園でいくのがいいのではないかと思います。土地の面で言えば、いちから買うとなると財政が圧迫されるので今ある公的な土地が使えるのであるのであればそこに造るのがいいのではないかと思います。

〔議長〕

ありがとうございます。

各グループの意見をまとめると2園その他案になります。

他にこのような意見がありますというのがあればお聞きしたいのですがいかがでしょうか。

〔委員〕

意見なし

〔議長〕

そうしたらこの検討委員会としては2園その他案で進めていくことでご理解をお願い

いします。

場所ですが、事務局が2園その他案で2つ考えてくれています。しかし、場所については、どこに建てるかをここで決めてしまうよりも、この後、小学校、中学校の再編を考えていかなければならないのですが、これも検討委員会の責務になりますので、同時並行で考えて場所を決めていってはどうでしょうか。事務局としたらこのやり方で大丈夫でしょうか。

〔事務局〕

進め方は大丈夫です。ただ、最初に竜川に造ることはいいだろうということですが、竜川の規模について確認をしたいと思います。

〔議長〕

1園目は竜川に造ることでいかがでしょうか。

〔委員〕

意見なし

〔議長〕

みなさんの合意をいただいているということで、1園目は竜川に造ることで進めていきたいと思います。規模については、2園その他案で竜川現状考慮案ですと170人、平準化案ですと180人とありますがこれでよろしいでしょうか。

〔事務局〕

2園その他案の中で竜川現状考慮案と平準化案では、最初の段階では差がでてこない。2050年になると差がでてくるというものです。

〔議長〕

この案でいかがでしょうか。

以前、園児数が多くなるから3園案がいいという意見もありましたが、どうでしょうか。

〔委員〕

意見なし

〔議長〕

では、1園目については、竜川に170～180人規模のこども園を造り、2園目については小学校、中学校の議論の中で決めていきたいと思います。

〔委員A〕

2園目を建てる時の規模は10年後の園児数をもとにして決めることでいいですよね。150人規模で十分ということですよ。

〔議長〕

そうです。ただ、その時の園児の減少によっては変わってきますし、私立施設にも協力いただきながら規模を考えていくことになると思います。いかがでしょうか。

では、こども園については、このように進めていきたいと思います。

次に、いよいよ小学校、中学校には行っていきたいと思いますが、小学校だけ又は中学校だけで議論するのはしにくいので、小学校、中学校を一緒に考えて進めていきたいと思いますがこのような進め方でいかがでしょうか。

事務局から資料はありませんか。

〔事務局〕

令和7年5月1日の児童、生徒数のデータとこれまでの推移の資料がありますのでお配りします。

〔議長〕

今、配られた資料のグラフをみると、びっくりするような数字が並んでいると思いま

す。これをもとに次回から議論していくわけですが、現時点で何か確認しておきたいことや質問、もしくは事務局に用意してもらいたい資料などがありますか。

〔委員B〕

確認ですが、こども園を5年ごとに造っていくという話でしたが、そうすれば小学校はこども園の後になるのですか。

〔議長〕

こども園は4～5年の期間で1園ずつですが、小学校はこども園が終わってからとりかかるという議論ではないです。

〔委員C〕

小学校と中学校を同時並行で考えていこうという話でしたが、中学校については選択肢が限られているので答えが出しやすいのではないのでしょうか。中学校の立地によって小学校の立地に影響がでてくことを考えると、まずは中学校を決めてから小学校に移ったほうが、立地であるとかそういった議論がしやすいのではないのでしょうか。

〔議長〕

実はその流れでいきたいと考えていました。もしよければ今回の検討委員会で中学校を決めてしまうということはどうでしょうか。事務局はいかがでしょうか。

〔事務局〕

そのようなやり方もあると思います。

〔議長〕

中学校は、東中学校と西中学校の2校なので、2校又は1校であり、以前の答申においても1校で出しています。この検討委員会でこういった検討をしていくかということはありませんが、いかがでしょうか。

〔委員D〕

中学校は近い距離に2校あるということ、部活動についても東中学校と西中学校で一緒にしていると聞いていますので、中学校に関しては早めに再編したほうが他のことを考えやすいのではないかと思います。しかし、再編することのデメリットが分からないので委員の皆さんに聞いてみたいと思います。

〔委員E〕

中学校を1校にする場合、今の施設を利用して再編するのであれば2校のうち生徒数の多い東中学校になるのかもしれませんが、このとき東中学校の教室で受け入れは可能でしょうか。2校を1校にしたときに体育館や運動場の規模は問題ないのでしょうか。こういった資料があるといいです。

〔議長〕

事務局は準備できますか。

〔事務局〕

現状で考えていいのであれば資料はお示しできると思います。東中学校のほうが教室は多いので、東中学校を使用したほうが、あまり施設に手を加えずにいけるのではないかと考えています。次回までに資料を用意します。

〔議長〕

ありがとうございます。

次回は、中学校の話になりますが、小学校の資料もお願いします。

また、委員の皆さんには、次回の会議までに間に合えば、早めに事務局に言って資料を作ってもらうことも可能と思います。

〔議長〕

今回の検討委員会では、はじめに中学校についての意見をまとめて、小学校に入りたいと思います。小学校については、配られた資料をよく見ていただいて、小学校の人数もそうですが、クラス数についても考慮しながら考えてもらえたらと思います。

ここは、しっかりと議論しなければいけないので、グループワークのほうがいいと思います。

〔委員 B〕

1 クラスの定員は何人ですか。

〔事務局〕

35 人です。

〔委員 B〕

資料をみると、35 人で 2 クラスの学校もあれば、37 人で 1 クラスの学校がありますがどうしてですか。

〔事務局〕

学校長の申し出により 2 クラスに認められたものと、特別支援学級の生徒を含めた人数の表記になっているためです。この資料の学級数は普通学級を表しています。

〔議長〕

クラス数のことはしっかりと議論していかないといけないと思います。以前の委員会で「クラス替えができるような小学校の規模が必要なのではないか。」という意見がでたように人数とクラス数が議論の焦点になってくると思います。

〔議長〕

今日は、こども園の議論について落ち着いたものになりました。委員の皆さんには次

回の小学校と中学校の議論のために資料をもう一度見直してもらえたらと思います。
事務局から、何かありますか。

〔事務局〕

次回以降の日程をお知らせします。8月18日（月）、9月29日（月）、10月20日（月）の予定です。よろしくお願いします。

〔議長〕

それでは、以上を持ちまして、本日の会議を終了します。
みなさん、たいへんお疲れ様でした。

20時05分 終了